

伊那市水道事業

平成29年度 伊那市水道事業 業務状況 (下期分)

－平成29年10月1日から平成30年3月31日まで－

1. 事業の概況

(1) 給水件数 (年度累計)

(単位: 件, %)

口径	平成29年度	平成28年度	前年度比較	
			増減量	増減率
13mm	179,566	178,528	1,038	0.6
20mm	4,661	4,747	-86	-1.8
25mm	2,000	2,008	-8	-0.4
30mm	577	583	-6	-1.0
40mm	733	742	-9	-1.2
50mm	437	442	-5	-1.1
75mm	176	172	4	2.3
100mm	12	14	-2	-14.3
100mm以上	6	6	0	0.0
年度合計	188,168	187,242	926	0.5

(2) 給水量 (有収水量)

(単位: m³, %)

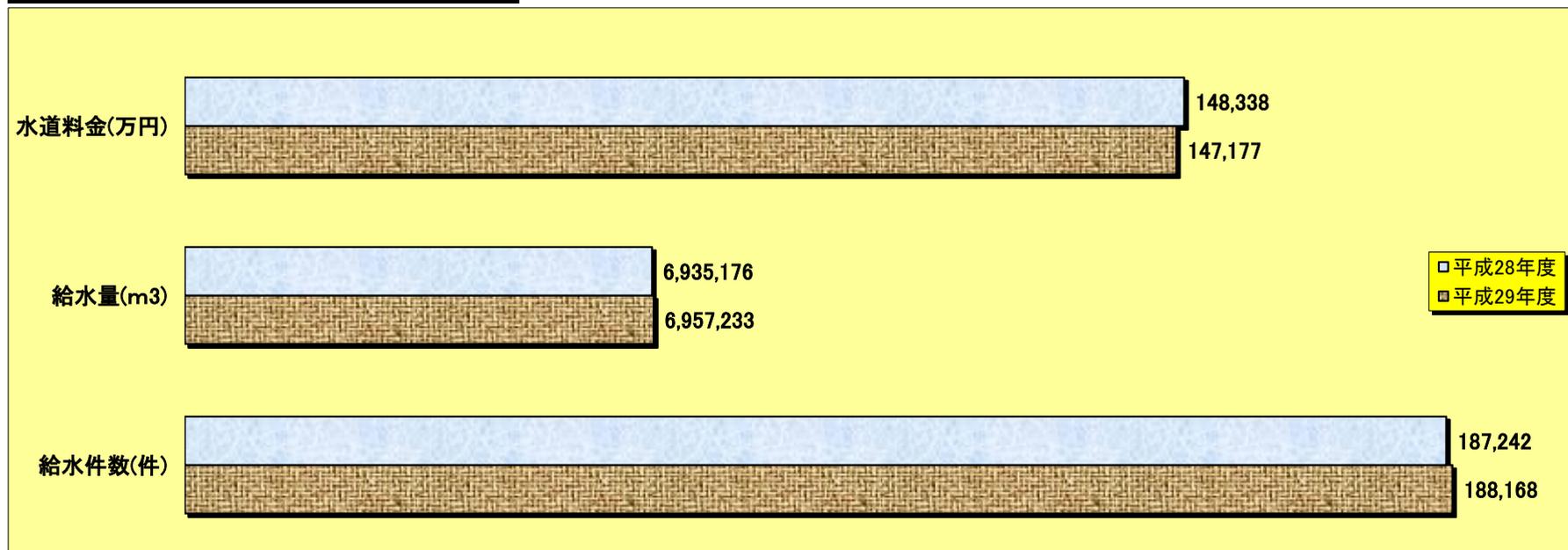
月	平成29年度	平成28年度	前年度比較	
			増減量	増減率
10月	633,285	606,712	26,573	4.4
11月	612,058	586,989	25,069	4.3
12月	540,993	539,784	1,209	0.2
1月	572,846	571,890	956	0.2
2月	550,870	554,466	-3,596	-0.6
3月	600,259	594,515	5,744	1.0
計	3,510,311	3,454,356	55,955	1.6
年度合計	6,957,233	6,935,176	22,057	0.3

(3) 水道料金

(単位: 万円, %)

月	平成29年度	平成28年度	前年度比較	
			増減量	増減率
10月	13,370	13,117	253	1.9
11月	12,840	12,348	492	4.0
12月	11,651	11,923	-272	-2.3
1月	11,916	12,050	-134	-1.1
2月	11,770	12,023	-253	-2.1
3月	12,474	12,478	-4	0.0
計	74,021	73,939	82	0.1
年度合計	147,177	148,338	-1,161	-0.8

(注) 比較のため、前年度数字には簡易水道事業特別会計を含んでいます。



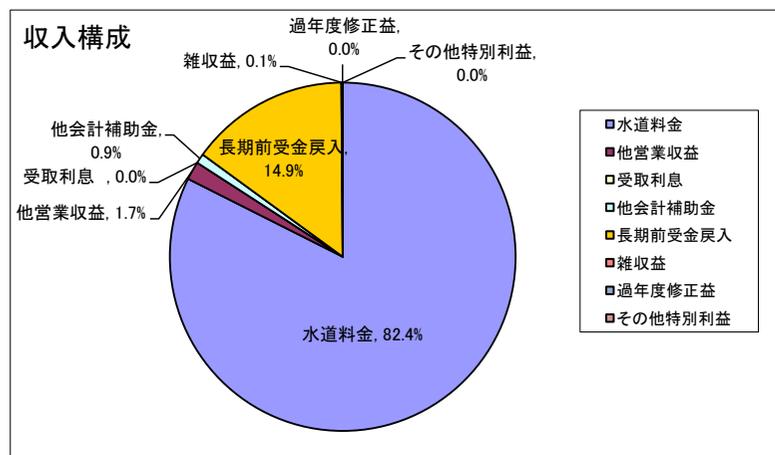
2. 経理の状況（決算）

(1) 収益的収入及び支出（水道事業）

イ. 収入

(単位：万円, %)

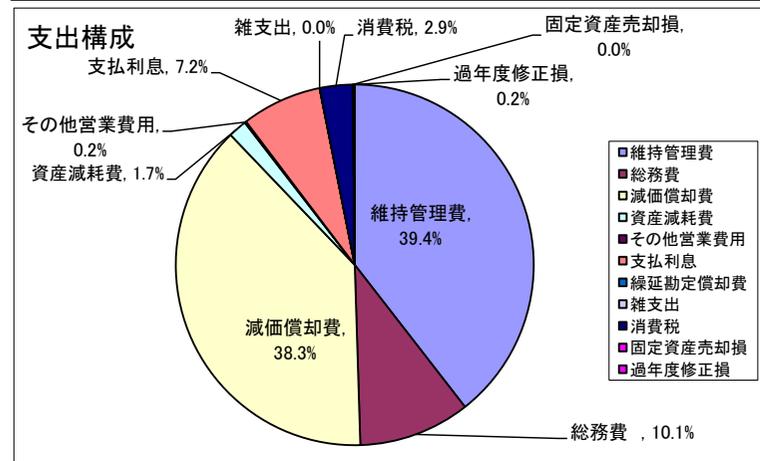
科目	予算現額	調定済額	差額	執行率
営業収益	142,846	142,605	241	99.8
給水収益	139,917	139,757	160	99.9
受託工事収益	0	0	0	
その他の営業収益	2,929	2,848	81	97.2
分担金	0	0	0	
営業外収益	26,606	26,990	-384	101.4
受取利息・配当金	10	9	1	90.0
他会計補助金	1,526	1,517	9	99.4
長期前受金戻入	25,019	25,357	-338	101.4
雑収益	51	107	-56	209.8
消費税及び地方消費税還付金	0	0	0	
特別利益	14	42	-28	300.0
固定資産売却益	0	0	0	
過年度損益修正益	1	30	-29	3,000.0
その他特別利益	13	12	1	92.3
合計	169,466	169,637	-171	100.1



ロ. 支出

(単位：万円, %)

科目	予算現額	執行済額	差額	執行率
営業費用	146,623	141,162	5,461	96.3
原水及び浄水費	46,175	45,738	437	99.1
配水及び給水費	17,894	16,380	1,514	91.5
受託工事費	0	0	0	
業務費	5,103	4,971	132	97.4
総係費	12,553	10,885	1,668	86.7
減価償却費	60,854	60,322	532	99.1
資産減耗費	3,806	2,628	1,178	69.0
その他営業費用	238	238	0	100.0
営業外費用	17,071	16,043	1,028	94.0
支払利息及び企業債取扱諸費	11,613	11,384	229	98.0
繰延勘定償却費	0	0	0	
雑支出	158	25	133	15.8
支払消費税及び地方消費税	5,300	4,634	666	87.4
特別損失	465	308	157	66.2
固定資産売却損	65	65	0	100.0
過年度損益修正損	400	243	157	60.8
その他特別損失	0	0	0	
予備費	200	0	200	0.0
予備費	200	0	200	0.0
合計	164,359	157,513	6,846	95.8



(2) 収益的収入及び支出（簡易水道事業）

イ. 収入

(単位：万円，%)

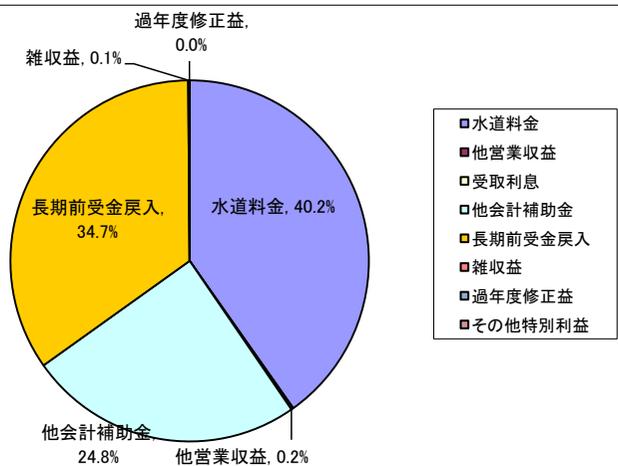
科目	予算現額	調定済額	差額	執行率
営業収益	7,501	7,442	59	99.2
給水収益	7,467	7,401	66	99.1
受託工事収益	0	0	0	
その他の営業収益	34	41	-7	120.6
分担金	0	0	0	
営業外収益	12,989	10,983	2,006	84.6
受取利息・配当金	0	0	0	
他会計補助金	6,521	4,562	1,959	70.0
長期前受金戻入	6,467	6,394	73	98.9
雑収益	1	27	-26	2,700.0
消費税及び地方消費税還付金	0	0	0	
特別利益	0	6	-6	
固定資産売却益	0	0	0	
過年度損益修正益	0	6	-6	
その他特別利益	0	0	0	
合計	20,490	18,431	2,059	90.0

ロ. 支出

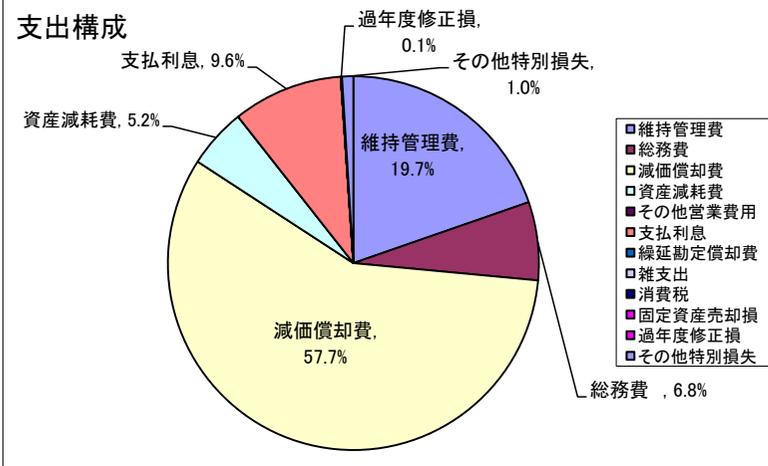
(単位：万円，%)

科目	予算現額	執行済額	差額	執行率
営業費用	18,038	17,131	907	95.0
原水及び浄水費	3,143	2,750	393	87.5
配水及び給水費	1,299	1,030	269	79.3
受託工事費	0	0	0	
業務費	413	395	18	95.6
総係費	922	903	19	97.9
減価償却費	11,166	11,058	108	99.0
資産減耗費	1,095	995	100	90.9
その他営業費用	0	0	0	
営業外費用	2,054	1,838	216	89.5
支払利息及び企業債取扱諸費	2,037	1,838	199	90.2
繰延勘定償却費	0	0	0	
雑支出	17	0	17	0.0
支払消費税及び地方消費税	0	0	0	
特別損失	317	209	108	65.9
固定資産売却損	0	0	0	
過年度損益修正損	50	21	29	42.0
その他特別損失	267	188	79	70.4
予備費	100	0	100	0.0
予備費	100	0	100	0.0
合計	20,509	19,178	1,331	93.5

収入構成



支出構成



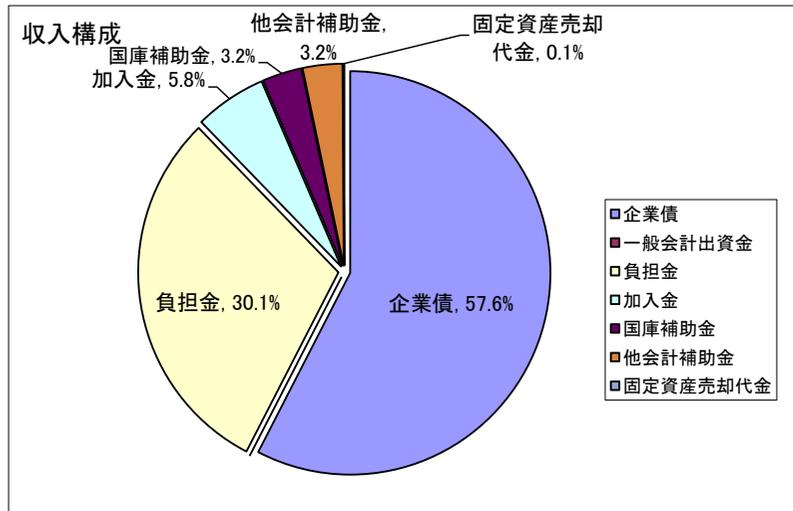
(3) 資本的収入及び支出 (水道事業)

イ. 収入

(単位：万円，%)

科 目	予算現額	調定済額	差 額	執行率
企業債	23,440	18,200	5,240	77.6
企業債	23,440	18,200	5,240	77.6
出資金	0	0	0	
一般会計出資金	0	0	0	
他会計借入金	0	0	0	
他会計借入金	0	0	0	
分担金及び負担金	14,659	11,351	3,308	77.4
負担金	12,884	9,529	3,355	74.0
加入金	1,775	1,822	-47	102.6
分担金	0	0	0	
補助金	2,000	2,000	0	100.0
国庫補助金	1,000	1,000	0	100.0
他会計補助金	1,000	1,000	0	100.0
固定資産売却代金	36	36	0	100.0
固定資産売却代金	36	36	0	100.0
その他資本剰余金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
合 計	40,135	31,587	8,548	78.7

(注) 予算現額には昨年度からの建設改良費の繰越に係る額を含みます。

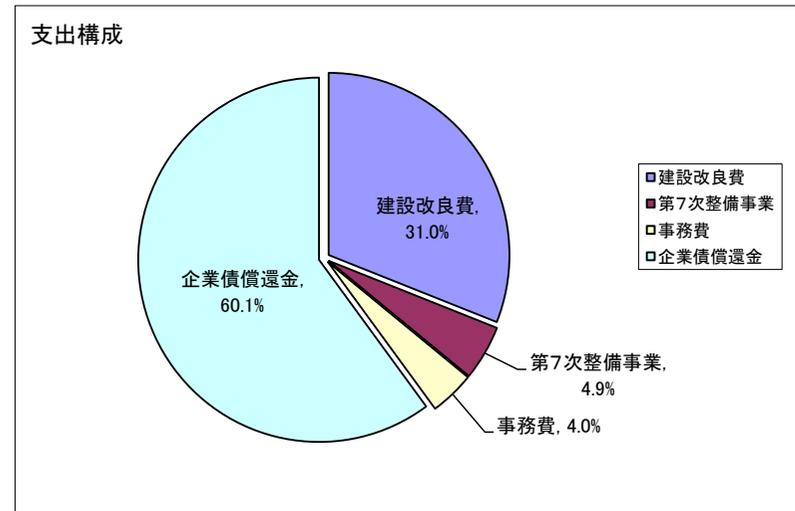


ロ. 支出

(単位：万円，%)

科 目	予算現額	執行済額	差 額	執行率
建設改良費	41,523	28,967	12,556	69.8
土地	0	0	0	
構築物	32,990	20,917	12,073	63.4
機械及び装置	4,774	4,370	404	91.5
車両運搬具	0	0	0	
工具・器具及び備品	404	378	26	93.6
事務費	3,355	3,302	53	98.4
調査費	0	0	0	
企業債償還金	49,867	49,857	10	100.0
企業債償還金	49,867	49,857	10	100.0
第7次整備事業	4,230	4,098	132	96.9
構築物	4,230	4,098	132	96.9
諸費	0	0	0	
返還金	0	0	0	
予備費	95	0	95	0.0
予備費	95	0	95	0.0
合 計	95,715	82,922	12,793	86.6

(注) 予算現額には昨年度からの建設改良費の繰越に係る額を含みます。



(4) 資本的収入及び支出 (簡易水道事業)

イ. 収入

(単位: 万円, %)

科目	予算現額	調定済額	差額	執行率
企業債	6,660	6,330	330	95.0
企業債	6,660	6,330	330	95.0
出資金	0	0	0	
一般会計出資金	0	0	0	
他会計借入金	0	0	0	
他会計借入金	0	0	0	
分担金及び負担金	23	14	9	60.9
負担金	0	0	0	
加入金	23	14	9	60.9
分担金	0	0	0	
補助金	4,468	4,465	3	99.9
国庫補助金	0	0	0	
他会計補助金	4,468	4,465	3	99.9
固定資産売却代金	0	0	0	
固定資産売却代金	0	0	0	
その他資本剰余金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
合計	11,151	10,809	342	96.9

ロ. 支出

(単位: 万円, %)

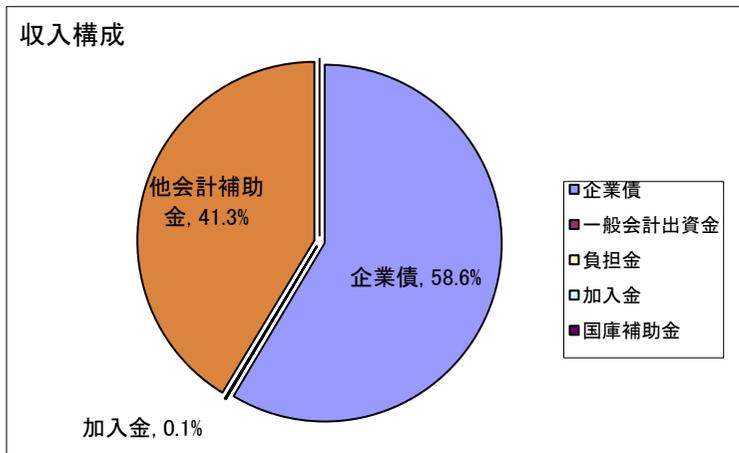
科目	予算現額	執行済額	差額	執行率
建設改良費	8,267	7,905	362	95.6
土地	0	0	0	
構築物	0	0	0	
機械及び装置	6,673	6,339	334	95.0
車両運搬具	89	89	0	100.0
工具・器具及び備品	17	15	2	88.2
事務費	1,488	1,462	26	98.3
調査費	0	0	0	
企業債償還金	8,648	8,635	13	99.8
企業債償還金	8,648	8,635	13	99.8
第7次整備事業	0	0	0	
構築物	0	0	0	
諸費	0	0	0	
返還金	0	0	0	
予備費	11	0	11	0.0
予備費	11	0	11	0.0
合計	16,926	16,540	386	97.7

(5) 企業債等の状況

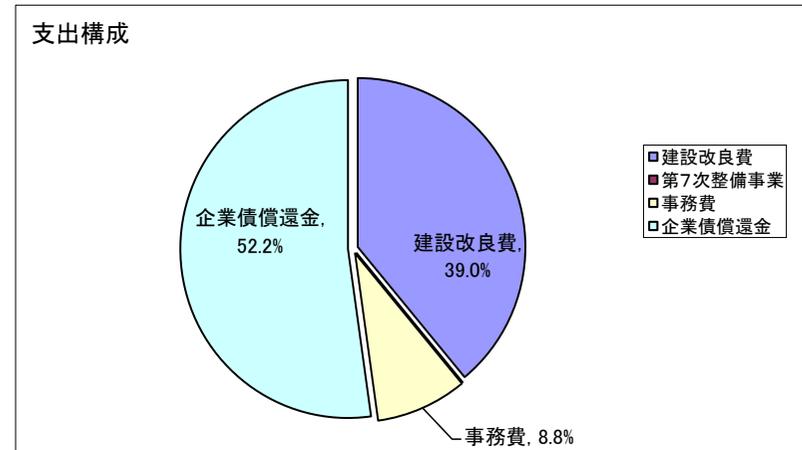
(単位: 万円)

当期中初未償還残高	当期借入額	当期償還高	当期中末償還残高
664,284	24,530	58,492	630,323

収入構成



支出構成



3. 平成30年度当初予算の概要

(1) 収益的収入及び支出

イ. 収入

(単位：万円，%)

科 目				30年度 当初予算額	29年度 当初予算額	前年度対比
1	水道事業収益			166,781	171,020	97.5%
		1	営業収益	141,168	142,846	98.8%
			1 給水収益	138,117	139,917	98.7%
			3 その他営業収益	3,051	2,929	104.2%
		2	営業外収益	25,612	26,620	96.2%
			1 受取利息及び配当金	8	10	80.0%
			2 他会計補助金	1,463	1,539	95.1%
			3 長期前受金戻入	24,088	25,020	96.3%
			4 雑収益	53	51	103.9%
		3	特別利益	1	1,554	0.1%
			2 過年度損益修正益	1	1	100.0%
			3 その他特別利益	0	1,553	皆減
2	簡易水道事業 収益			19,689	19,970	98.6%
		1	営業収益	7,419	7,501	98.9%
			1 給水収益	7,380	7,467	98.8%
			3 その他営業収益	39	34	114.7%
		2	営業外収益	12,258	12,469	98.3%
			2 他会計補助金	7,101	6,997	101.5%
			3 長期前受金戻入	5,152	5,472	94.2%
			4 雑収益	5	0	皆増
		3	特別利益	12	0	皆増
			3 その他特別利益	12	0	皆増
	収入計			186,470	190,990	97.6%

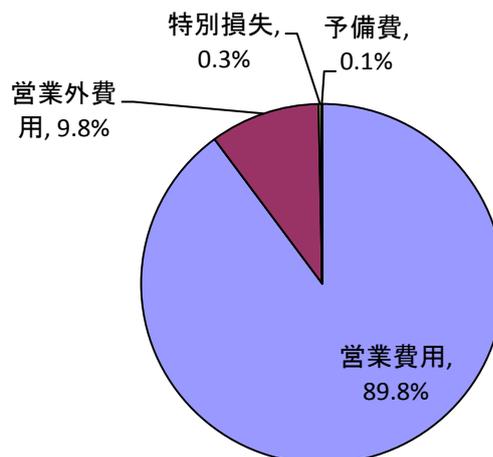
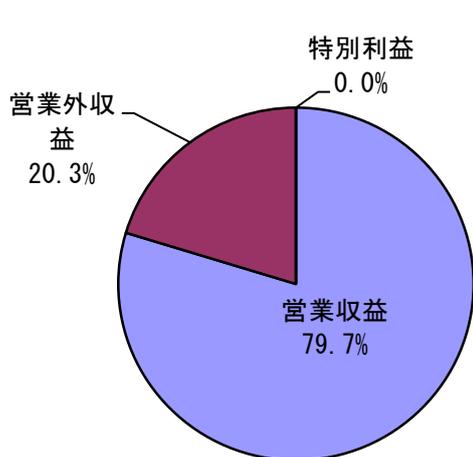
ロ. 支出

科 目				30年度 当初予算額	29年度 当初予算額	前年度対比
1	水道事業費用			159,060	156,440	101.7%
		1	営業費用	142,734	139,069	102.6%
			1 原水及び浄水費	46,024	46,153	99.7%
			2 配水及び給水費	19,636	18,029	108.9%
			4 業務費	5,271	5,139	102.6%
			5 総係費	7,272	4,992	145.7%
			6 減価償却費	60,629	60,854	99.6%
			7 資産減耗費	3,806	3,806	100.0%
			8 その他営業費用	96	96	100.0%
		2	営業外費用	15,726	16,871	93.2%
			1 支払利息及び企業債 取扱諸費	10,472	11,613	90.2%
			4 雑支出	154	158	97.5%
			5 消費税及び地方消費 税	5,100	5,100	100.0%
		3	特別損失	400	300	133.3%
			4 過年度損益修正損	400	300	133.3%
		4	予備費	200	200	100.0%
			1 予備費	200	200	100.0%

科 目				30年度 当初予算額	29年度 当初予算額	前年度対比
2	簡易水道事業 費用			19,210	19,570	98.2%
		1	営業費用	17,304	17,129	101.0%
			1 原水及び浄水費	3,022	3,138	96.3%
			2 配水及び給水費	1,183	1,298	91.1%
			4 業務費	514	402	127.9%
			5 総係費	1,160	1,025	113.2%
			6 減価償却費	11,325	11,166	101.4%
			7 資産減耗費	100	100	100.0%
		2	営業外費用	1,756	2,054	85.5%
			1 支払利息及び企業債 取扱諸費	1,742	2,037	85.5%
			4 雑支出	14	17	82.4%
		3	特別損失	50	287	17.4%
			4 過年度損益修正損	50	20	250.0%
			5 その他特別損失	0	267	皆減
		4	予備費	100	100	100.0%
			1 予備費	100	100	100.0%
	支出計			178,270	176,010	101.3%

収入－支出				8,200
-------	--	--	--	-------

30年度構成比率



(2) 資本的收入及び支出

イ. 収入

(単位：万円，%)

科 目				30年度 当初予算額	29年度 当初予算額	前年度対比
1	資本的收入			39,070	38,310	102.0%
		1	企業債	23,090	23,460	98.4%
			1 企業債	23,090	23,460	98.4%
		4	分担金及び負担金	15,980	13,684	116.8%
			1 負担金	14,321	11,909	120.3%
			2 加入金	1,659	1,775	93.5%
		5	補助金	0	1,166	皆減
			1 国庫補助金	0	1,166	皆減
2	簡易水道事業 資本的收入			6,110	11,150	54.8%
		1	企業債	580	6,660	8.7%
			1 企業債	580	6,660	8.7%
		4	分担金及び負担金	20	22	90.9%
			2 加入金	20	22	90.9%
		5	補助金	5,510	4,468	123.3%
			2 他会計補助金	5,510	4,468	123.3%
	収入計			45,180	49,460	91.3%

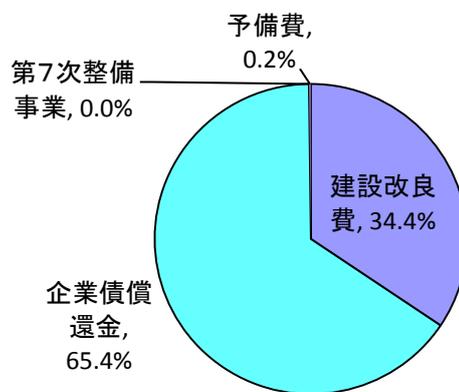
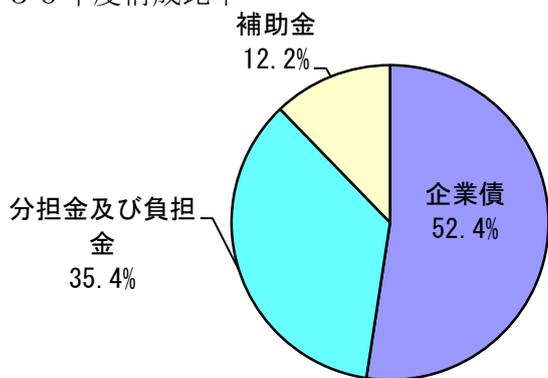
ロ. 支出

科 目				30年度 当初予算額	29年度 当初予算額	前年度対比
1	資本的支出			87,370	90,900	96.1%
		1	建設改良費	32,271	36,933	87.4%
			3 構築物	25,863	28,550	90.6%
			4 機械及び装置	2,748	4,774	57.6%
			5 車両運搬具	120	0	皆増
			6 工具・器具及び備品	176	404	43.6%
			7 事務費	3,364	3,205	105.0%
		2	企業債償還金	54,999	49,867	110.3%
			1 企業債償還金	54,999	49,867	110.3%
		5	第7次整備事業	0	4,000	皆減
			3 7次整備 構築物	0	4,000	皆減
		15	予備費	100	100	100.0%
			1 予備費	100	100	100.0%
2	簡易水道事業 資本的支出			12,860	17,350	74.1%
		1	建設改良費	2,121	8,602	24.7%
			4 機械及び装置	583	6,673	8.7%
			6 工具・器具及び備品	0	17	皆減
			7 事務費	1,538	1,912	80.4%
		2	企業債償還金	10,639	8,648	123.0%
			1 企業債償還金	10,639	8,648	123.0%
		15	予備費	100	100	100.0%
			1 予備費	100	100	100.0%
	支出計		支出計	100,230	108,250	92.6%

収入－支出	収入－支出			-55,050
-------	-------	--	--	---------

資本的收入額が資本的支出額に対し不足する額55,050万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額700万円、当年度分損益勘定留保資金46,629万円及び減債積立金7,721万円で補てんするものとする。

30年度構成比率



(3) 事業の経営方針

水道事業経営健全化計画（第2改訂版）に基づいて、持続可能な事業経営の実現を目標に、簡易水道事業を含めて純利益決算が達成できるよう取り組んでいきます。

老朽化した施設の更新や耐震化などの計画的な整備を推進するとともに、施設等の維持管理の効率化により経費節減や施設等を取得・使用するために必要な費用の総額（以下ライフサイクルコスト。）の低減化を図り、水需要が減少傾向である中でも安定した事業経営が行えるよう努めます。

このため、次のとおりの事業を実施していきます。

- ①上水道基本計画に基づき、施設の統廃合や効率的な水運用のための建設改良事業の推進
- ②老朽化した水道施設、機器、水道管の更新及び耐震化
- ③資産の有効活用や長期的なライフサイクルコストを削減するための水道事業及び簡易水道事業アセットマネジメントの推進
- ④有収率向上のための検針時漏水調査及びその結果に基づく二次調査
- ⑤滞納整理マニュアルに基づく未収金の削減

伊那市下水道事業

平成29年度 伊那市下水道事業 業務状況 (下期分)

－平成29年10月1日から平成30年3月31日まで－

1. 事業の概況

(1) 調定件数

(単位：件，%)

月	平成29年度	平成28年度	前年度比較	
			増減量	増減率
10月	12,621	12,371	250	2.0
11月	11,661	11,434	227	2.0
12月	12,657	12,348	309	2.5
1月	11,665	11,436	229	2.0
2月	12,544	12,290	254	2.1
3月	11,685	11,446	239	2.1
計	72,833	71,325	1,508	2.1
年度合計	145,428	142,502	2,926	2.1

(2) 汚水量 (有収水量)

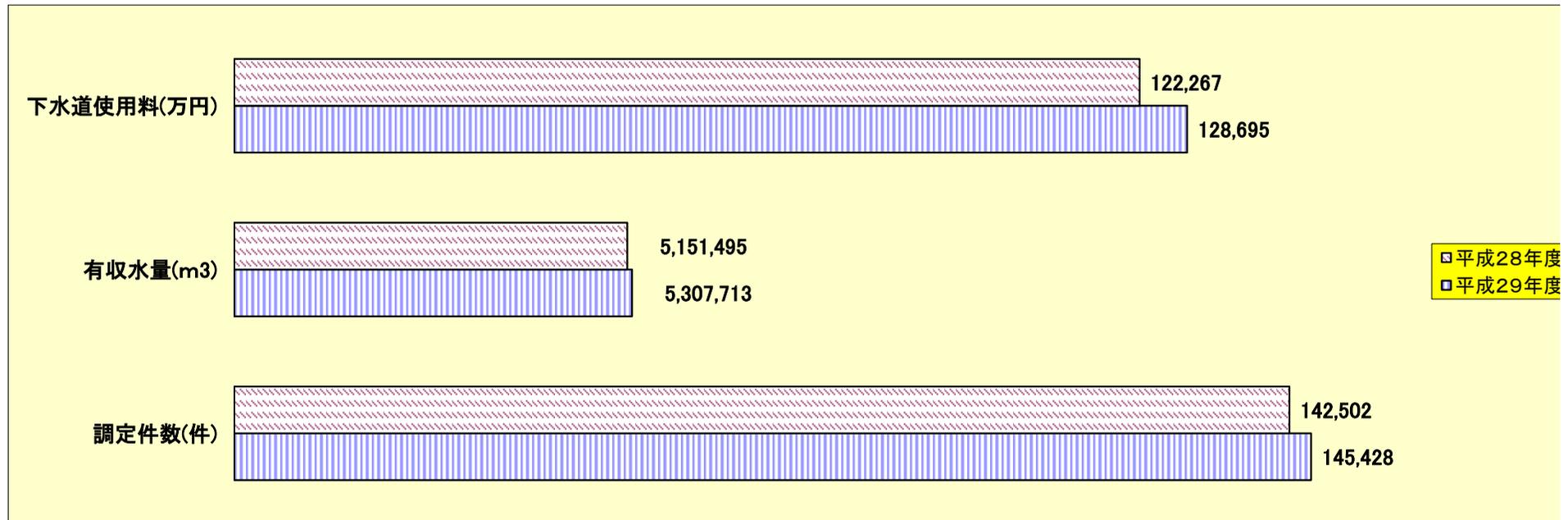
(単位：件，%)

月	平成29年度	平成28年度	前年度比較	
			増減量	増減率
10月	506,100	481,631	24,469	5.1
11月	446,633	421,516	25,117	6.0
12月	442,103	445,887	-3,784	-0.8
1月	419,941	414,404	5,537	1.3
2月	458,797	464,050	-5,253	-1.1
3月	442,879	436,016	6,863	1.6
計	2,716,453	2,663,504	52,949	2.0
年度合計	5,372,082	5,307,713	64,369	1.2

(3) 下水道使用料

(単位：万円，%)

月	平成29年度	平成28年度	前年度比較	
			増減量	増減率
10月	12,417	11,306	1,111	9.8
11月	10,460	9,403	1,057	11.2
12月	11,053	10,589	464	4.4
1月	9,934	9,299	635	6.8
2月	11,355	10,972	383	3.5
3月	10,402	9,787	615	6.3
計	65,621	61,356	4,265	7.0
年度合計	128,695	122,267	6,428	5.3



2. 経理の状況（決算）

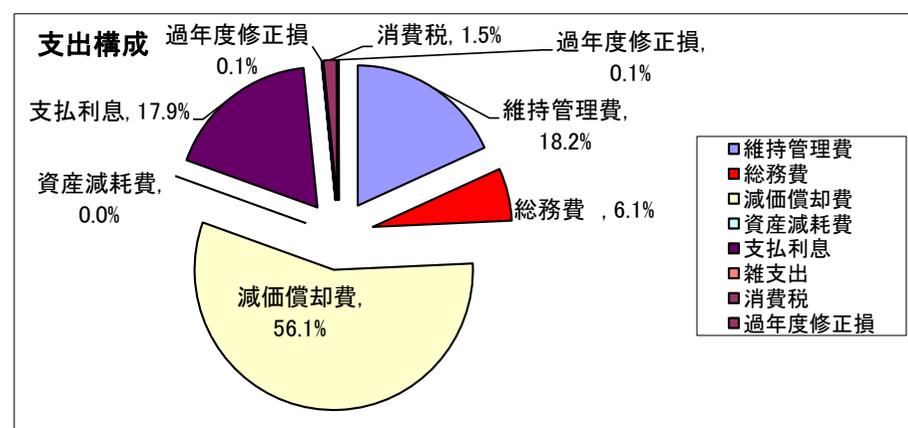
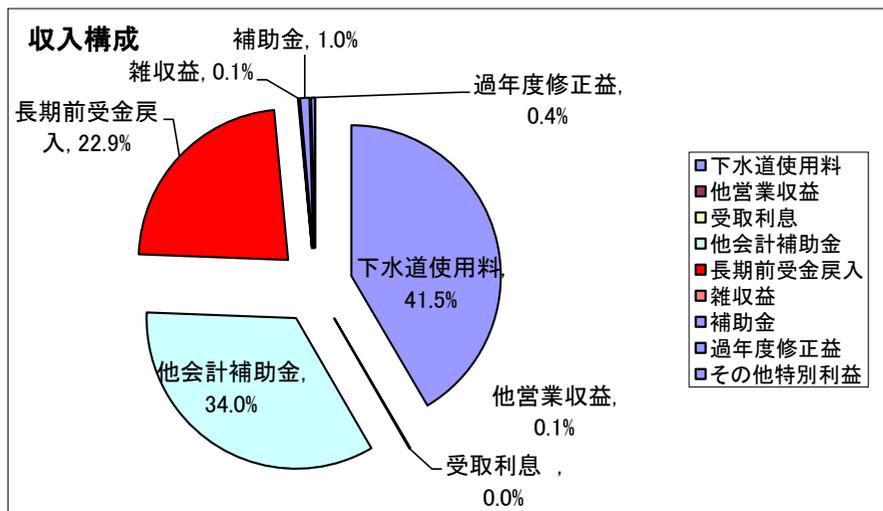
（1）収益的収入及び支出

イ. 収入 (単位：万円，%)

科目	予算現額	調定済額	差額	執行率
営業収益	129,782	129,146	636	99.5
下水道使用料	129,292	128,696	596	99.5
受託工事収益	0	0	0	
その他の営業収益	490	450	40	91.8
分担金	0	0	0	
営業外収益	180,549	179,765	784	99.6
受取利息・配当金	14	15	-1	107.1
他会計補助金	105,867	105,277	590	99.4
長期前受金戻入	71,122	71,122	0	100.0
雑収益	346	342	4	98.8
補助金	3,200	3,009	191	94.0
特別利益	1,136	1,156	-21	101.8
固定資産売却益	0	0	0	
過年度損益修正益	1,037	1,058	-21	102.0
その他特別利益	99	99	0	100.0
合計	311,467	310,067	1,400	99.6

ロ. 支出 (単位：万円，%)

科目	予算現額	執行済額	差額	執行率
営業費用	235,672	230,999	4,673	98.0
管渠費	6,672	6,330	342	94.9
処理場費	48,541	45,948	2,593	94.7
受託工事費	0	0	0	
業務費	5,460	5,215	245	95.5
総係費	13,397	12,203	1,194	91.1
減価償却費	161,302	161,302	0	100.0
資産減耗費	300	0	300	0.0
その他営業費用	0	0	0	
営業外費用	57,688	55,833	1,855	96.8
支払利息及び企業債取扱諸費	51,582	51,427	155	99.7
繰延勘定償却費	0	0	0	
雑支出	506	54	452	10.7
支払消費税及び地方消費税	5,600	4,352	1,248	77.7
特別損失	450	478	△ 28	106.2
固定資産売却損	0	0	0	
過年度損益修正損	450	478	△ 28	106.2
その他特別損失	0	0	0	
予備費	200	0	200	0.0
予備費	200	0	200	0.0
合計	294,010	287,310	6,700	97.7



(2) 資本的収入及び支出

イ. 収入

(単位：万円，%)

科目	予算現額	調定済額	差額	執行率
企業債	191,200	159,440	31,760	83.4
企業債	191,200	159,440	31,760	83.4
出資金	20,000	20,000	0	100.0
他会計出資金	20,000	20,000	0	100.0
他会計借入金	0	0	0	
他会計借入金	0	0	0	
分担金及び負担金	9,072	9,365	-293	103.2
受益者負担金	8,005	8,174	-169	102.1
他会計負担金	0	178	△ 178	
分担金	1,067	1,012	55	94.8
補助金	44,418	39,458	4,960	88.8
国庫補助金	16,600	11,640	4,960	70.1
他会計補助金	27,818	27,818	0	100.0
固定資産売却代金	0	0	0	
固定資産売却代金	0	0	0	
合計	264,690	228,263	36,427	86.2

(注) 予算現額には昨年度からの建設改良費の繰越に係る額を含みます。

ロ. 支出

(単位：万円，%)

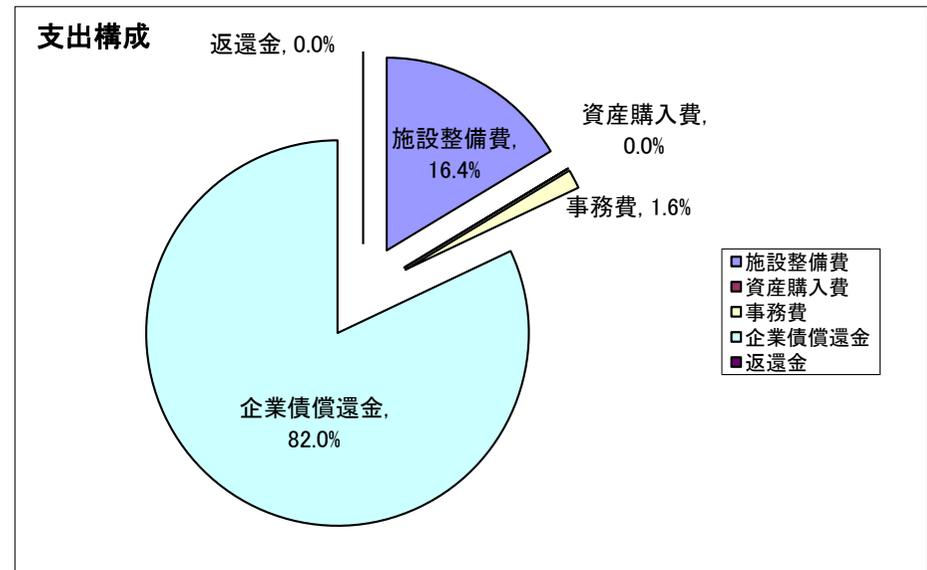
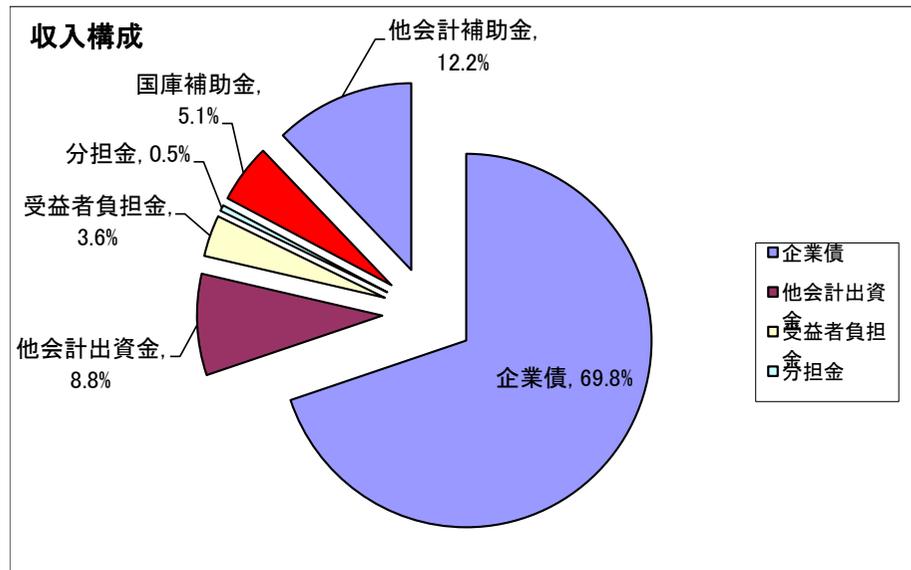
科目	予算現額	執行済額	差額	執行率
建設改良費	94,185	57,929	36,255	61.5
施設整備費	89,116	52,925	36,191	59.4
資産購入費	27	25	2	92.6
開発費	0	0	0	
事務費	5,042	4,980	62	98.8
企業債償還金	264,063	264,063	0	100.0
企業債償還金	264,063	264,063	0	100.0
諸費	5	0	5	0.0
返還金	5	0	5	0.0
予備費	200	0	200	0.0
予備費	200	0	200	0.0
合計	358,453	321,992	36,455	89.8

(注) 予算現額には昨年度からの建設改良費の繰越に係る額を含みます。

(3) 企業債等の状況

(単位：万円)

当期当初未償還残高	当期借入額	当期償還高	当期末償還残高
3,492,420	159,440	264,063	3,387,797



3. 平成30年度当初予算の概要

(1) 収益的収入及び支出

イ. 収入

(単位：万円，%)

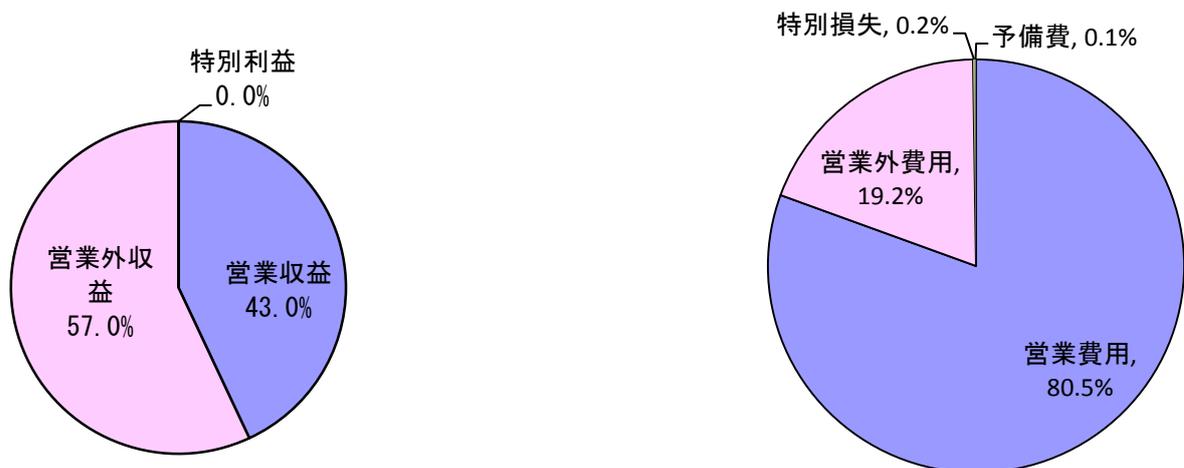
科 目	30年度当初予算額	29年度当初予算額	前年度対比
1 営業収益	128,525	129,782	99.0%
1 下水道使用料	128,020	129,292	99.0%
3 その他営業収益	505	490	103.1%
2 営業外収益	170,344	180,140	94.6%
1 受取利息及び配当金	12	14	85.7%
2 他会計補助金	99,568	105,995	93.9%
3 長期前受金戻入	70,422	70,585	99.8%
4 雑収益	343	346	99.1%
6 補助金	0	3,200	皆減
3 特別利益	1	928	0.1%
2 過年度損益修正益	1	1	100.0%
3 その他特別利益	0	927	皆減
収入計	298,870	310,850	96.1%

ロ. 支出

科 目	30年度当初予算額	29年度当初予算額	前年度対比
1 営業費用	226,520	236,528	95.8%
1 管渠費	7,216	6,672	108.2%
3 処理場費	48,276	49,008	98.5%
5 業務費	5,731	5,347	107.2%
6 総係費	5,151	13,564	38.0%
7 減価償却費	159,846	161,637	98.9%
8 資産減耗費	300	300	100.0%
2 営業外費用	54,230	58,852	92.1%
1 支払利息及び 企業債取扱諸費	49,025	52,746	92.9%
4 雑支出	505	506	99.8%
5 消費税及び地方消費	4,700	5,600	83.9%
3 特別損失	450	350	128.6%
2 過年度損益修正損	450	350	128.6%
4 予備費	200	200	100.0%
1 予備費	200	200	100.0%
収入計	281,400	295,930	95.1%

収入－支出	17,470
-------	--------

30年度構成比率



(2) 資本的収入及び支出

イ. 収入

(単位：万円，%)

科 目	30年度当初予算額	29年度当初予算額	前年度対比
1 企業債	166,390	184,280	90.3%
1 企業債	166,390	184,280	90.3%
2 出資金	20,000	20,000	100.0%
1 他会計出資金	20,000	20,000	100.0%
4 分担金及び負担金	7,844	9,072	86.5%
1 受益者負担金	6,146	8,005	76.8%
2 他会計負担金	700	0	皆増
3 分担金	998	1,067	93.5%
5 補助金	42,846	44,788	95.7%
1 国庫補助金	13,280	16,970	78.3%
2 他会計補助金	29,566	27,818	106.3%
収入計	237,080	258,140	91.8%

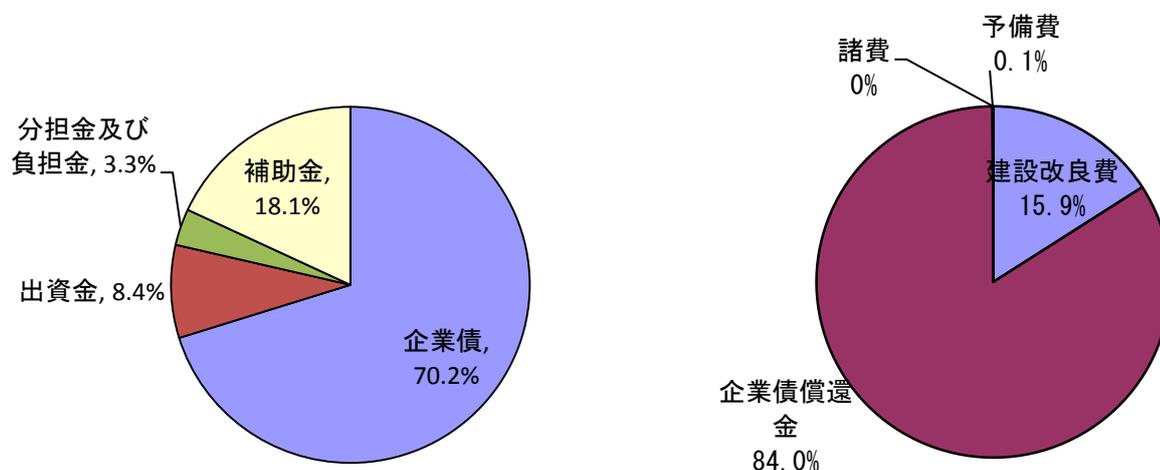
ロ. 支出

科 目	30年度当初予算額	29年度当初予算額	前年度対比
1 建設改良費	53,765	85,093	63.2%
1 施設整備費	48,506	79,888	60.7%
2 資産購入費	57	27	211.1%
4 事務費	5,202	5,179	100.4%
2 企業債償還金	283,650	264,361	107.3%
1 企業債償還金	283,650	264,361	107.3%
4 諸費	5	5	100.0%
1 返還金	5	5	100.0%
15 予備費	200	200	100.0%
1 予備費	200	200	100.0%
収入計	337,620	349,660	96.6%

収入－支出	-100,540
-------	----------

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額100,540万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,318万円、過年度分損益勘定留保資金84,560万円、当年度分損益勘定留保資金14,662万円を補てんするものとする。

30年度構成比率



(3) 事業の経営方針

平成 29 年 3 月に改訂を行った下水道事業経営健全化計画（第 4 改訂版）に基づき、累積赤字の解消に向けた経営健全化のための施策を着実に実施していきます。

このため、次のとおりの事業を実施していきます。

- ①経営健全化計画に基づく公共・特環事業の面整備、耐震工事実施設計
- ②長寿命化計画に基づく処理場やマンホールポンプ等の更新
- ③農集処理場の機能診断業務
- ④融資あっせん制度の P R と接続サポート補助金、接続指導の実施
- ⑤滞納整理の強化

また、一般会計からの出資として 4 条予算へ 1 億円（平成 27 年度からの分と合わせて 2 億円）の基準外繰り入れを受けます。

伊那市自動車運送事業

平成29年度 伊那市自動車運送事業 業務状況 (下半期分)

－平成29年10月1日から平成30年3月31日まで－

1. 事業の概況

(1) 乗車人数

(単位：人，%)

月	平成29年度	平成28年度	前年度比較	
			増減量	増減率
10月	6,957	9,573	△ 2,616	72.7
11月	1,244	1,448	△ 204	85.9
12月	0	0	0	－
1月	0	0	0	－
2月	0	0	0	－
3月	0	0	0	－
下半期計	8,201	11,021	△ 2,820	74.4
計	51,377	49,387	1,990	104.0

(2) 走行距離

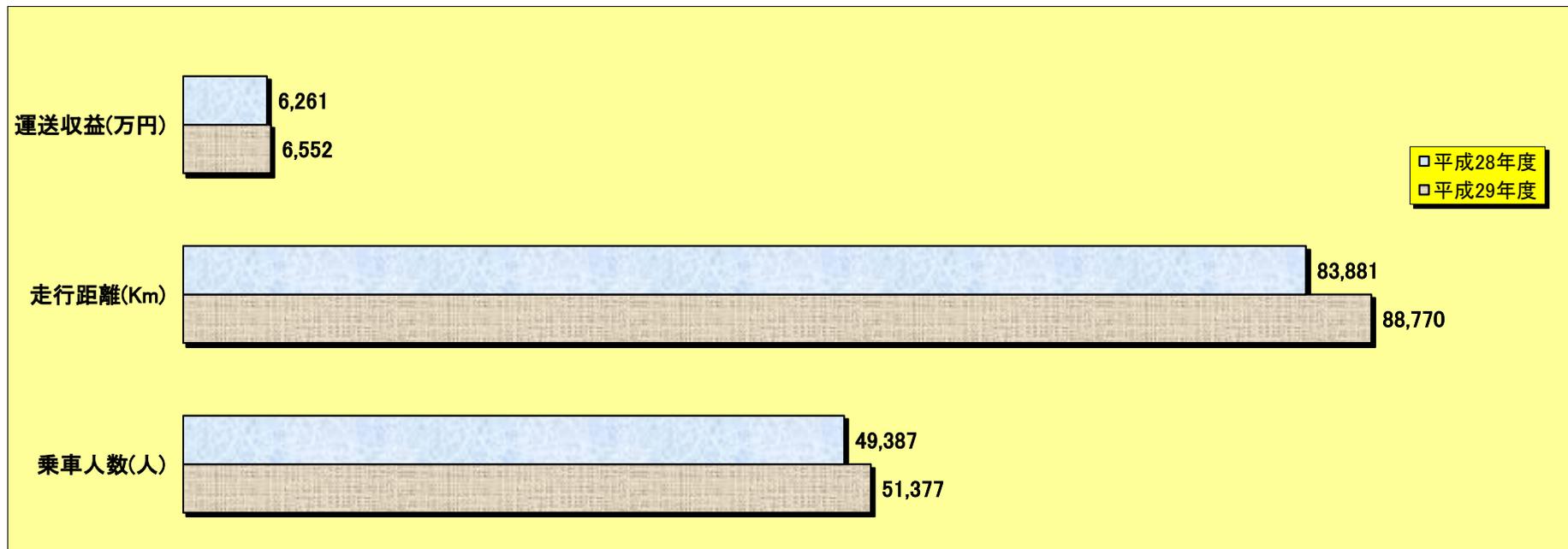
(単位：Km,%)

月	平成29年度	平成28年度	前年度比較	
			増減量	増減率
10月	12,797	14,046	△ 1,249	91.1
11月	3,805	3,593	212	105.9
12月	0	0	0	－
1月	0	0	0	－
2月	0	0	0	－
3月	0	0	0	－
下半期計	16,602	17,639	△ 1,037	94.1
計	88,770	83,881	4,889	105.8

(3) 運送収益 (旅客運賃、手荷物料金)

(単位：万円,%)

月	平成29年度	平成28年度	前年度比較	
			増減量	増減率
10月	1,088	1,095	△ 7	99.4
11月	260	324	△ 64	80.2
12月	19	14	5	135.7
1月	0	9	△ 9	0.0
2月	0	0	0	－
3月	0	0	0	－
下半期計	1,367	1,442	△ 75	94.8
計	6,552	6,261	291	104.6



2 経理の状況

(1) 収益的収入及び支出

イ. 収入

(単位：万円、%)

科 目	予 算 額	調 定 済 額	予 算 残 額	執 行 率
1 自動車運送事業収益	6,700	6,722	△ 22	100.3
1 営業収益	6,546	6,552	△ 6	100.1
1 運送収益	6,546	6,552	△ 6	100.1
2 運送雑収益	0	0	0	—
2 営業外収益	154	170	△ 16	110.4
1 受取利息及び配当金	14	14	0	100.0
4 雑収益	140	156	△ 16	111.4

ロ. 支出

(単位：万円、%)

科 目	予 算 額	執 行 済 額	予 算 残 額	執 行 率
1 自動車運送事業費用	6,199	5,634	565	90.9
1 営業費用	5,654	5,216	438	92.3
1 運転費	3,822	3,728	94	97.5
2 車両修繕費	372	334	38	89.8
3 その他修繕費	75	39	36	52.0
4 固定資産減価償却費	696	659	37	94.7
5 施設損害保険料	51	35	16	68.6
6 施設使用料	41	31	10	75.6
8 一般管理費	597	390	207	65.3
2 営業外費用	445	418	27	93.9
5 消費税及び地方消費税	445	418	27	93.9
4 予備費	100	0	100	0.0
1 予備費	100	0	100	0.0

(2) 資本的収入及び支出

イ. 収入

(単位：万円、%)

科 目	予 算 額	調 定 済 額	差 額	執 行 率
1 資本的収入	0	0	0	—
1 資本的収入	0	0	0	—
1 補助金	0	0	0	—

ロ. 支出

(単位：万円、%)

科 目	予 算 額	執 行 済 額	差 額	執 行 率
1 資本的支出	50	39	11	78.0
1 建設改良費	50	39	11	78.0
6 工具・器具及び備品	50	39	11	78.0

3. 平成30年度当初予算の概要

(1) 収益的収入及び支出

イ. 収入

(単位：万円)

科 目	平成30年度当初予算	平成29年度当初予算	比 較
1 自動車運送事業収益	6,540	6,550	△ 10
1 営業収益	6,380	6,390	△ 10
1 運送収益	6,380	6,390	△ 10
2 運送雑収益	0	0	0
2 営業外収益	160	160	0
1 受取利息及び配当金	20	20	0
4 雑収益	140	140	0

ロ. 支出

(単位：万円)

科 目	平成30年度当初予算	平成29年度当初予算	比 較
1 自動車運送事業費用	6,170	6,500	△ 330
1 営業費用	5,685	6,015	△ 330
1 運転費	4,036	4,191	△ 155
2 車両修繕費	365	352	13
3 その他修繕費	75	75	0
4 固定資産減価償却費	463	696	△ 233
5 施設損害保険料	51	51	0
6 施設使用料	84	41	43
8 一般管理費	611	609	2
2 営業外費用	385	385	0
5 消費税及び地方消費税	385	385	0
4 予備費	100	100	0
1 予備費	100	100	0

(2) 資本的収入及び支出

イ. 収入

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額210万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額15万円、過年度分損益勘定留保資金195万円で補てんするものとする。

ロ. 支出

(単位：万円)

科 目	平成30年度当初予算	平成29年度当初予算	比 較
1 資本的支出	2,100	50	2,050
1 建設改良費	2,100	50	2,050
4 機械及び装置	1,287	0	1,287
6 工具・器具及び備品	813	50	763

(3) 事業の経営方針

公共交通機関には、正確な運行と旅客の利便性ととも、高度の安全性が求められます。伊那市を訪れる登山客や観光客に南アルプスを堪能していただくために、親切で丁寧な対応はもとより、安全性を最優先して業務を行います。

運転者の技術の向上、健康管理には特に配意し、人為的な事故を防止します。また、道路状況、危険個所を把握し、的確な運行管理に努めます。

とりわけ、この路線は、一般の生活路線や観光地と異なり、厳しい山岳地帯に及びますので、バスを利用した乗客、特に登山者が無事下山するところまでが本企業の事業と考えます。従って、乗客が安易で軽率な行動をとらないように適切な情報を提供し、場合によっては毅然とした指導を行うことを心がけます。

また、山梨県南アルプス市との協力体制についてはバス乗客のスムーズな接続、誘導に心がけ、真心をもって接客に努めます。

経営にあたっては、運転経費などの節減に努めるとともに、広告媒体及びホームページ等を通じ情報発信し、効果的な宣伝により集客増に結び付けるようにします。

また、利用者のニーズに対応するため、アンケート調査を実施し今後集客及び運行の見直しに向け研究します。